

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名： 木村 昌司

事業名	一般国道42号 紀宝バイパス	事業区分	一般二次	事業主体	国土交通省 中部地方整備局	
起終点	自：三重県南牟婁郡紀宝町井田 至：三重県南牟婁郡紀宝町成川	延長	3.8 km			
事業概要	一般国道42号紀宝バイパスは、東紀州地域の幹線道路である国道42号のうち、三重県南牟婁郡紀宝町井田から紀宝町成川に至る延長3.8kmのバイパスです。					
S47年度事業化	—	S49年度用地着手	S55年度工事着手			
全体事業費	約150億円	事業進捗率	69%	供用済延長	2.2km	
計画交通量	8,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 47/285億円 事業費：40/248億円 維持管理費：7/37億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 141/331億円 走行時間短縮便益：136/318億円 走行費用減少便益：5/12億円 交通事故減少便益：0/1億円	基準年 平成18年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現道の交通環境（渋滞／事故）の改善 ・ 旅行時間の短縮 <p style="text-align: right;">他5項目に該当</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通量及び混雑度 ・ 道路の渋滞状況及び歩道設置状況 ・ 事故状況 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率99%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業区間：L=1.6km 平成20年代前半の開通を目指します。					
施設の構造や工法の変更等	土工部におけるプレキャスト製品の積極的な採用によりコスト縮減を図っています。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えます。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。